

令和4年度 第7回

青梅市教育委員会定例会会議録

日 時 令和4年10月5日（水）午後1時30分
場 所 青梅市役所3階教育委員会会議室

第7回青梅市教育委員会（定例会）議事日程

会 期 令和4年10月5日（水）1日間

場 所 青梅市役所3階教育委員会会議室

日 程

- 1 教育長開会および開議宣言
 - 2 会議録署名委員の指名
 - 3 教育長報告事項
 - 4 教育長閉議および閉会宣言
-

教育長報告事項（再掲）

- 1 青梅市教育委員会事務委任規則第3条にもとづく専決処分の報告について（教育総務課）
 - 2 令和5年成人の日青梅市二十歳を祝う会の開催について（社会教育課）
 - 3 青梅市図書館の年末開館の試行について（社会教育課）
 - 4 諸報告
 - （1）委員会等会議録
 - ア 青梅市社会教育委員会議会会議録（社会教育課）
 - イ 青梅市図書館運営協議会会議録（社会教育課）
 - （2）事業等の実施予定について
 - ア 生涯学習事業実施予定について（社会教育課・文化課）
 - （3）事業等の実施結果について
 - ア 令和4年度前期後援名義承認結果について（教育総務課）
 - イ スタディ・アシスト取組状況について（教育指導担当）
 - ウ 生涯学習事業実施結果について（社会教育課・文化課）
-

出席委員	教 育 長	橋 本 雅 幸	
	教育委員会委員	大 野 容 義	
	教育委員会委員	稻 葉 恭 子	
	教育委員会委員	教 育 委 員 会 委 員	百 合 陽 子
	教育委員会委員	教 育 委 員 会 委 員	杉 本 洋

出席説明員	教 育 部 長	布 田 信 好
	教育総務課長	芥 川 純一郎
	学 務 課 長	山 田 浩 之
	指 導 室 長	拝 原 茂 行
	教育指導担当主幹	鈴 木 章 郎
	学校給食センター所長	中 村 浩 二
	社 会 教 育 課 長	遠 藤 康 弘
	美 術 担 当 主 幹	田 島 奈都子

書 記	教育総務課庶務係長	須 崎 満
	教育総務課庶務係	渡 邊 雅 哉

午後1時35分開会

日程第1 教育長開会および開議宣言

【教育長（橋本）】 本日の定例会には、教育長および委員4名が出席しておりますので、本会議は成立いたしました。

これより、令和4年度第7回青梅市教育委員会定例会を開会いたします。
本日の会議を開きます。

日程第2 会議録署名委員の指名

【教育長（橋本）】 初めに、日程第2、会議録署名委員の指名を行います。

本日の会議録署名委員には、百合委員を指名いたします。

【委員（百合）】 はい、承知しました。

【教育長（橋本）】 次に、令和4年8月3日開催の令和4年度第5回定例会会議録につきましては、前回の定例会でお配りし、それぞれご覧をいただいております。よろしければこの場でご承認をいただきたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

【教育長（橋本）】 ご異議ないようですので、令和4年度第5回定例会の会議録につきましては、ご承認をいただきました。

次に、令和4年8月24日開催の令和4年度第6回定例会の会議録を机上にご配付してごいただきます。次回までにご覧をいただきまして、次回の定例会でご承認をいただきたいと存じます。

【教育長（橋本）】 次に、本日の議事進行につきまして、教育長報告事項の1につきましては、議事の都合上、本日審議される案件の最後に行います。

日程第3 教育長報告事項

【教育長（橋本）】 それでは、日程第3、教育長報告事項に移ります。

初めに、各委員の皆様から報告を頂戴したいと存じます。よろしくお願いいたします。

【委員（大野）】 4点お話をさせてください。

1点は、この会議の前に学校給食センターのご担当者から、これから使用する給食の食器についての説明がございました。全部の学校を回って先生たちの意見を聞いたりして、精力的に動いておられるという印象を持ちました。今は食器を少し使うようになってきていますが、かつて、私の子どもが小・中学生のころは、1枚のお皿で食べるものだから、姿勢が悪くなるといわれる食べ方をしていました。さらに子どもたちが運びやすい食缶とか、持ちやすい食器とか、アレルギー対応の食器などについて、自分たちの考えだけではなくて学校の意見を取り入れようということで、今動いていらっしゃる。すばらしい取組で、実際に使う人たちの思いを大切にしたいという学校給食センターのお考えに感銘を受けました。

2点目です。郷土博物館の霞台遺跡展に改めて行って見ました。私も霞台遺跡の近くに住んでいるわけですが、昔から大変住みやすい、いい土地だったのだと、改めて思いました。

3点目ですけれども、「原田泰治の世界」を見てきました。車で行きましたら、美術館の横の駐車場はいっぱい、左側の砂利敷きの駐車場にも多くの車が停まっています。これはすごいと思って、美術館に行きましたら、大変大勢の人が来られていました。美術のわからない私が見ても、大変温かい絵で、すばらしいなど感動するような作品でした。こういう企画展をなさったのは大変いいことで、大勢の市民の皆さまが来ていただいているなど思い、うれしくなりました。

4点目です。吹上小学校の運動会がありました。私は吹上小学校の隣に住んでいるのですが、ソーラン節を今年はやるということで5・6年生が練習しているのですが、例年になく大きな声を子どもたちが出しています。いよいよ明日が運動会という最後の練習のときに、子どもたちが本当に大きな声で練習をしていました。その練習が終わった後ですが、子どもたちを座らせて、5・6年の先生たちがその前の方を囲むようにして、一人ずつ、「これまで本当によく頑張ったね。大変よくできるようになったよ。」という励ましの言葉を送っていました。このとき、子どもたちと先生だけで、保護者も周りに誰もいないのです。子どもと先生だけの世界で、一緒に感動を分かち合っているような、そういうふうな練習風景でした。学校の先生の仕事って、改めていいな。子どもと一緒に泣いたり笑ったり感動したり、すばらしいものだと思います。今、学校の先生のなり手が少ないといいますが、多くの若者が教師を目指して頑張って勉強するようになってほしいと思います。

以上です。

【委員（稲葉）】 9月8日に市町村教育委員会協議会の分科会に出てきました。1つは地域と学校の連携・協働についてというテーマで、関西の川西市や鹿児島県の自治体等4人、5人でお話しました。地域との連携ですごく盛り上がったのが、不登校の子どもたちを地域で何とか応援できないかということで、各学校に校内フリースクールをもう川西市では設けていて、その話を詳しく聞けたのでご報告します。誰がそれを運営されているのかわからなかったのでお聞きしますと、地域の方がその担当となって、フリースクールを開いてくださっている。人件費も聞きましたら、市と県で負担しているとのことでした。市だけが全部負担するのではなくて県も応援してフリースクールを運営しているので、当然市としては負担があまりないということを聞いています。ぜひ青梅市でも校内フリースクールを設置できるような方向に持っていったらいいなとすごく思いました。具体的なことを、川西市の教育長と同じグループでしたので、そういうお話を伺いました。

もう一つは、部活動のあり方についてテーマでした。部活を先生ではなくて専門家に頼むときにどのようにすればいいのかということで皆さんとお話したときに、地域で活動している文化団体、それからスポーツ団体にまず声をかけて、中学校の部活の指導をできないかということで人材を集めているというお話がありました。私が参加したグループの中では、方法はわかるのだけれど人材が見つからなくて躊躇している自治体や、いずれは先生方のことも考えて専門家の方を置くという自治体もありました。部活動をやりたい先生もいるという意見もあり、その中でとある市では、先

生が指導にあたるときは学校の教員としてではなく、部活の指導員として、市と県から指導費を出すようにしているそうです。幅広くいろいろリサーチすると、様々な方法があるのだなというのがわかって、とてもよかったです。

以上、この2点です。

【委員(百合)】 私は4月から教育委員の責務と責任という研修を5回にわたって受けてきました。その最終日に制服の話になりまして、女子生徒はスカートかスラックスか選べるようになったということは、大体どこの学校も、市町村もあるのですが、男子生徒でスカートを選ぶことはできるのかという話になりました。各市町村でそういう子はいますかとなったときに、スカートを選ぶ男子生徒はいないという話にはなりました。青梅市にはそういう子がいたのかなということを、また後でいいので教えていただきたいと思います。

それに伴って、ほかにもトイレとか更衣室の問題で、男子か女子かという選択肢しかない中で、ある学校は、小学校も中学校も入学する時点で児童・生徒からそういう相談があった場合は、どこのトイレ、どこの更衣室なら使えますということを学校側から提示して、職員トイレなら使えますとか選んでもらって、その子には、特別扱いになってしまいますけれども、そのトイレを使ってもらう、その更衣室を使ってもらうというふうになっている市がありました。

あとは、たまたまこれから学校を建て替えるという市があったのですけれども、そこは最初から多目的トイレ、多目的更衣室というか、どちらにも使えるような更衣室を用意して、そういう子たちに配慮ができるようにしていきますというお話もありました。

これから先の時代、もっとそういったことが出てくると思うのですけれども、青梅市も児童・生徒が安心して、とにかくまず学校にそういう心配がなく通えるように配慮した環境づくりをしてほしいなと思いました。

最後にもう一つ、先ほど稲葉委員からお話があったように、部活動の地域移行で、青梅市はどれくらい進んでいるのか、例えば年度内に何か動きがあるとか、わかる範囲で教えていただきたいと思います。

以上です。

【委員(杉本)】 私は、10月1日に諏訪大社で神仏習合のイベントに参列してきました。150年ぶりに神社と仏教が一緒になってする行事があって、そこに参加させていただきました。そのときに、諏訪市立博物館で縄文の出土品の展示だとか、そういうものについてもいろいろとお話を受けてきました。青梅市立郷土博物館の展示と比較しましても、扱い方とか捉え方とかだいぶ違うなと。今後、青梅市での縄文というものをもっと大きく捉えてもいいのかなというふうに思っただけで帰ってきたら、翌日の10月2日に、梅郷1・2丁目の自治会館で、毛呂山町の郷土博物館の館長をされていた方のお話がありました。その方は梅郷に住んでいらして、杉平というところの梅郷の縄文遺跡のことについての講座を自治会で始めて、地元の縄文について研究されたり、自分も発掘されたり、住民の方たちにも参加を呼び掛けたりということで、いろいろな縄文の話をしていただきました。住民からそういうような働きかけとか、カルチャースクールみたいなことが立ち上がってき

ていて、それを市としてどういう取り組み方をするかという両方の力の関係というか、もっと総合的にバランスよく展開すると、青梅で縄文というものの扱いがもっと変わって行って、子どもたちや大人、住民、いろいろな方たちに密接な関係で理解していただけるのではないかなど。そういうことをものすごくこの週末で感じました。学校教育的なものからは外れてしまうかもしれませんが、たくさんの方が参加されていて、自治会に入っていない方たちまで参加していました。こういうテーマでやると地域の人たちがこんなつながり方をしていくのだなとか、そういうのを新しい視点で見ることができましたので、今後のいろいろな形での地域活動に使っていただけるのではないかなというふうに感じました。

それから、先ほど給食センターの食器を拝見して、とてもいい視点で、子どもたちの食器に対するの思いが伝わってきました。とてもすばらしいなと思います。引き続きまたよろしく願いいたします。

それから、先ほどの総合教育会議でも議案に出たのですけれど、青梅駅前の図書館のつくり方、全く違う形の図書館のあり方というのはとても魅力的だなと思います。本にとらわれることなく、例えばミニシアターですとか、ワーキングスペースとして使えたりとか、若い人たちが電車を待つ間に使えるような、そういう施設。若い人たちとか地元の人たちが本当に使いたいなという施設。図書館ということで常に本にとらわれなくてもいいのではないかな。そういう施設になっていったらいいのではないかなというふうに思いましたので、つけ加えさせていただきます。

以上です。

【教育長（橋本）】 ありがとうございます。私からも少しお話をさせていただきます。

この間、大野委員からもございましたが、各小・中学校では運動会や体育発表会、移動教室、修学旅行等々が行われております。いっときのコロナ禍に比べて、なかなか来賓はお呼びできない中でも、各学校の行事が進んでいるところでございます。修学旅行ですが、第三中学校が、東京駅で7時間待たされたということがありましたけれども、無事に終わったようでございます。

それと、いろいろな活動が本格的に再開してきたなと感じております。9月6日に旧吉野家住宅のリニューアルオープン。それから、消防署主催の「はたらく消防写生会」の表彰式、児童合唱団の定期演奏会、青少年委員の第2ブロック研修会などが行われました。10月1日には敬老会が3年ぶりに行われまして、2,200人を超える参加があったと聞いております。大月みやこさんが見えたらしいですが、皆さん本当に喜んでお帰りいただいたという報告を聞いております。まだまだこれから芸術文化祭のオープニングセレモニーや、ここで第三小学校の金管バンドが東日本の吹奏楽大会に行きますので、それにも行ってきたいと思っておりますし、市民合唱団の定期演奏会などもございます。本当に動き出したのだなということを実感しておりますけれども、教育委員会としては感染対策には気を緩めることなく、いろいろな活動を行っていききたいと考えております。

先ほど稲葉委員からございました、いわゆる校内のふれあい学級についてです。大野委員からのご指摘はいただいておりますけれども、先ほど見ていただいた総合長期計画案の中にもありますが、東青梅センタービル内だけで現在やっている状況ですので、それを中学校全校というのはすぐには

難しいと思いますけれども、いわゆる分室的なことで数は増やしていこうということで市長にも了解をいただいております。その辺のところは早速に進めていきたいと思っております。費用負担等の問題もいろいろとお教えいただきましたので、勉強したいというふうに思います。

私からは以上でございます。

それでは次に、教育総務課長から順に現況報告などについて説明をお願いいたします。

【教育総務課長（芥川）】 教育総務課からは1点でございます。

東京都市町村教育委員会連合会の関係です。今後の日程でもお話ししますが、第1回研修会を10月7日の14時からオンラインで開催させていただきます。講師はタレントのスマイリーキクチ氏、テーマは「インターネットと人とのかかわり合い」ということで講演をいただきます。各市町村の教育長を含めた教育委員さん、小・中学校の正副校長、事務局職員を対象として参加募集したところ、180人以上の参加をいただくこととなっております。当日はチャット機能を使って幾つかの質問にもお答えいただけるのとでございます。

教育総務課からは以上です。

【学務課長（山田）】 学務課からは3点ご報告申し上げます。

1点目ですが、本年5月以降、委員の皆様にご相談、ご協議させていただいておりました医療的ケア児およびその家族に対する支援についてでございます。本件につきましては、10月4日から小学校への看護師の派遣、児童とその保護者への支援を開始いたしました。本日も問題なく終了したということをご報告させていただきます。

なお、事業を安全に実施していくために、児童、看護師および学校、それぞれがスムーズに現場で運営できるまでの期間、保護者の立ち会いをお願いしておりましたが、この立ち会いにつきましては来週からは不要となり、保護者の負担が軽減される見込みとなっていることを、併せてご報告いたします。

2点目でございます。学校保健関連の就学児健康診断についてでございます。就学児健康診断につきましては、対象者が就学前であるにもかかわらず学校の全面的なご協力をいただきながら実施しているものでございます。本年の対象者につきましては、おおむね870名、10月13日の第一小学校を初めに最終12月1日の河辺小学校までの予定で準備をしておりますので、ご報告させていただきます。

3点目、最後に小規模特別認定校の関連でございます。成木小学校および第七中学校では9月に来年4月からの就学に向けた説明会を開催いたしまして、小学校で約16組、中学校で約7組のご参加をいただいたところでございます。現在、期限を10月末日までといたしまして申し込みを受け付けておまして、11月中旬に就学希望者への面接を実施、12月上旬には保護者への就学承認を実施する予定となっております。

学務課からの報告は以上でございます。

【指導室長（拝原）】 私からは、8月23日に開催しました校長会についてご報告させていただきます。

校長会ではまず初めに、2学期を迎えるにあたって各学校に依頼したことを2点ご報告します。1点目は児童・生徒の健全育成ということで、長期休業日明けの児童・生徒の様子を十分に把握するよう依頼しました。また、教育活動につきまして、先ほどお話がございましたが、2学期も感染症対策と、涼しくなっただけでしたが熱中症の防止について依頼をしたところでございます。

2点目ですが、各種の校長選考、4級職選考、昇任の選考試験について日程等を報告しました。このときはまだ結果が出ておりませんでした。現在、校長選考一次の結果が出ておまして、小学校籍は10名中3名、中学校籍は2名中2名が一次合格という結果が出ております。現在二次選考の面接を終了したところで、その合否の結果については11月末に発表される予定となっております。

3点目は、教職員の人事異動について、流れを説明しました。

4点目が人事考課制度、中間申告の面接について留意点を説明しました。

5点目が服務事故の防止について、こちらは毎月依頼をしているところでございます。今年度につきましては今のところ服務事故はゼロできておりますので、引き続き服務事故防止について依頼したところでございます。

その他の件で、今年度より青梅市に配置されております教育法務相談員について保護者に周知するというので、各学校の学校だよりに掲載するよう依頼をしております。

先ほど百合委員からお話ございました、男子生徒がスカート希望しているかという件ですが、こちらの方は特に調査をしておりませんので、保護者から申し出がなければ把握はできていないところでございます。ただ、現在の報道等を見てみますと、どこにもある程度の割合で存在していることが言われておりますので、そういったところにも寄り添いながら、保護者や本人のニーズをよく把握した上で、安心して学校に登校できるように進めていきたいと考えております。

部活動の地域移行に関しまして、この会議の後に中学校長との懇談会でのテーマについて話をさせていただきますので、またそのときいろいろと教えていただけたらと思います。

以上でございます。

【教育指導担当主幹（鈴木）】 私からは2点ご報告させていただきます。

まず1点目、新型コロナウイルス感染症の状況でございますが、4月から本日までの期間で、640名を超えているという状況でございます。一時、9月の下旬ぐらいから徐々に落ち着き出して、一昨日は市内2名ということでしたが、昨日からまた増え出しまして、本日は20名を超えているところでございます。3連休の影響等があるかなと私は考えているところでございます。引き続き感染症対策を徹底しまして、各学校にはお願いをしていきたいと思っております。

もう一点ですが、いじめの重大事態に関することについての進捗状況をお伝えいたします。まず第1に、元市内小学校の児童に関するいじめ重大事態につきましては、8月下旬に市のいじめ調査部会から保護者等にいじめ重大事態の報告書についての説明がありました。それを受けまして、現在は調査部会で最終版の報告書の仕上げを行っております。また、このことに関する児童等へのスポーツ振興センターの給付につきましては、9月27日をもちまして、青梅市から申請を行った分

については支払いが終了しております。

またもう一点、元市内中学校の生徒に関するいじめ重大事態につきましては、9月下旬に私の方で保護者と面談を行いました。4月に送付しております報告書につきましては、保護者からはそのとおりでよいとのことで了解を得ております。またその席で、保護者意見書につきましては、今年の11月末を目途に提出する予定であるとの報告を受けました。それを受けまして、報告書にその意見書を入れて最終版となる予定でございます。

いずれも今後報告書が確定しましたら、いじめ問題対策委員会から教育委員会へ答申され、市長、市議会へ報告となります。

この2件の報告書の公表につきましては、現在、両保護者とも相談を行いまして対応していくというところで進んでおります。

私の方からは以上です。

【学校給食センター所長（中村）】 給食センターから1件ご報告させていただきます。

その前に、先ほどは駆け足で、食器または食缶の考え方についてご説明をさせていただきました。また取組姿勢につきましても格別なお言葉をいただきまして、ありがとうございます。

机上に当日配付で置かせていただきましたが、教育委員会ホームページの写しでございます。

3月にプロポーザルで設計業者を決めていきたいということで要綱をお認めいただきまして、ようやく半年、ここで業者が決まりました。これから基本設計、実施設計を始めていくということでございます。今回、業者の選定につきましては公募型で実施をし、このように公表するという形になっておりますので、6月10日から募集をしてまいりましたけれども、9月16日に公表、発表したということです。

裏面ですが、一番上に書いてあります名称ですが、株式会社楠山設計でございます。6者応募があったのですが、審査の結果ここに決定したということでございます。会社の所在地や委託料等の記載がございます。

選定でございますけれども、教育部長を委員長といたしまして8人の部課長で選定委員会を行いまして、業者の直接の担当者からのプレゼンテーションなどを聞き取りして、審査の上、決定をしたというところでございます。当該業者とは先日契約をしたところでございますので、これから基本設計をして、来年の春ぐらいを目途に、どのような給食センターになるのか、設計の概要がまとまるという方向で予定しております。

報告は以上でございます。

【社会教育課長（遠藤）】 社会教育課からは2点ほどご報告させていただきます。

まず、6月28日に青少年リーダー育成研修会の開講式を行いましたが、今年度3年ぶりに8月18日から21日に赤城で宿泊研修をすることができました。特にコロナウイルスの感染もなく無事に終了いたしました。

2点目です。先ほどからお話が出ております青梅駅前図書館ですが、午前中の総合教育会議でも稲葉委員から、今杉本委員からお話がありましたが、市長部局で青梅駅前の市街地再開発事業を進

めておりまして、駅に向かって左側の商業施設につきましては、計画の中で2階に図書館が入るといってございまして、図書館ですので、社会教育課がここで正式に担当ということになりましたので、ご報告をさせていただきます。教育委員会には、事業を進めていく中で随時ご報告をさせていただきますと思いますので、よろしくお願いいたします。

以上です。

【美術担当主幹（田島）】 大野委員には先日お越しいただきましたが、原田泰治展が始まっておりまして、連日盛況でございまして。昨日、一昨日も平日ですけれども100人以上、今日も天気はあまりよくないのですけれども、午後1時までの段階で60名以上来館されているということで、非常に好評を博しております。今回は、3月にご本人が急逝されてしまって、初の回顧展という形となりました。そういう意味でも多くの方がご来館になっております。非常に相性がいいだろうと思って選んだのですけれども、そういったこともありまして、連日混んでいるという状況になっております。

日曜日に読売新聞の取材が入りましたので、また今週中、カラーページがとれるということで多摩版の掲載があるのかなと思っております。そのほかについては流動的なのですけれども、NHKの日曜美術館のアートシーンで、最後の15分間で美術展が紹介されるコーナーがあるのですが、そこにも取り上げていただけることになっておりますので、会期中は多くの方が来られるのではないかと考えております。

以上です。

【教育長（橋本）】 各課からの報告をさせていただきました。ただいまの各報告にご質疑等ございましたらお願いいたします。

【委員（稲葉）】 駅前の図書館の件ですけれども、社会教育課が、以前にネッツたまぐーセンターを建てるときに担当したと思うのです。そのときに、私から見ると、工期を急いで突貫工事をしたために、新築なのに水漏れはする、防音装置のついた部屋からは音が漏れる、そういうことが起こっておりますので、今回は慎重かつ丁寧につくっていただければいいなと思っております。

以上、意見でした。

【教育長（橋本）】 ありがとうございます。十分に踏まえて対応したいと思います。

【委員（稲葉）】 それからも一つ。給食センターの審査結果のところですけど、A社が776点、E社の第2位が735点。これは点数制なのできちっとそれぞれの評価点があると思うのですが、A社の決め手というのは何だったのでしょうか。

【学校給食センター所長（中村）】 まず、担当する技術者の実績、資格等の配点、それからプレゼンテーションの中身、それから提案の内容、質疑応答の状況、それから見積価格等、全般的に高評価であったということでございます。

【委員（稲葉）】 ありがとうございます。

【教育長（橋本）】 ほかにいかがでしょうか。よろしいですか。

2 令和5年成人の日青梅市二十歳を祝う会の開催について（社会教育課）

【教育長（橋本）】 それでは、教育長報告事項を順次説明させていただきます。

初めに、教育長報告事項の2、令和5年成人の日青梅市二十歳を祝う会の開催について、を説明いたします。

【社会教育課長（遠藤）】 それでは、報告資料2をお目通しいただきたいと思います。令和5年成人の日青梅市二十歳を祝う会についてでございます。

名称につきましては、いろいろご議論いただきまして大変ありがとうございました。

期日ですが、来年1月9日成人の日でございます。

会場につきましては、昨年同様、住友金属鉦山アリーナ青梅の第1スポーツホールでございます。

時間につきましては、開式が午前10時30分、閉式は午前11時30分でございます。

対象につきましては、生年月日ですが、平成14年4月2日から平成15年4月1日までとなっております。

対象者が1,248人。4月1日現在ですので、間際になって人数は変わってくると思います。

それから、配布物ですが、式次第といたしまして例年同様、杉本委員にデザインを描いていただいております。

それから、夢のタイムカプセル返還と恩師からのビデオレターの上映となります。

招待者でございますが、こちらも昨年と同様となります。来賓が衆議院議員、都議会議員、それから市議会議員、市立小・中学校長。

裏面にいきまして、主催者ですが、理事者、教育委員、社会教育委員。

協力団体といたしまして、青梅市青少年委員協議会となっております。

今年度につきましては、1回で举行しようかと考えております。昨年度、2回に分けてやったのですが、第1部と第2部の入れ替えのときに、一方通行で1部の参加者は東側の入り口から出るようにして、2部の参加者の入り口は正面、西側の入り口としていたのですが、結果として1部の参加者が東側から西側に戻ってきて正面入り口が大混雑をしてしまいましたので難しいかなということと、コロナウイルスも徐々に収束しておりますので。あと、中学校で一緒になるように分けていたのですが、塾ですとか高校というとなかなか会えない方もいるというご意見もございましたので、今回は1回で行いたいと思います。

また当日はご出席の方、よろしく願いいたします。

以上でございます。

【教育長（橋本）】 説明は終わりました。ただいまの説明に対しご質疑等ございましたらお願いいたします。

【委員（百合）】 今のお話で、1回で終わるのはとてもいいと思います。どうしても前半と後半と分かると、友達を待っていたり、待ちたくなる気持ちもわかるので、一度でみんなに会えるのは、きっと本人たちもうれしいと思います。

質問ですが、出席を希望する者の中で、本籍のある者、市内小・中学校卒業者というのは、その

人たちにも招待状がいくのですか。連絡というのは個人にいくのですか。市内に住んでいるとハガキがきますが、今実際に市内にいない子たちにはどのように連絡がいくのでしょうか。

【社会教育課長（遠藤）】 住民票から見ますので市内に住所がないと招待状がいかないの、問い合わせをしていただければ招待状を出せます。

【委員（百合）】 ありがとうございます。

【教育長（橋本）】 ほかにいかがでしょうか。よろしいですか。

令和5年は、いわゆる成人式というのではなくて、こういう名称になります。杉本委員にはいつもデザインをお願いしておりますが、これを機に大変申し訳ないのですが題字までご無理を言ってお願いしてございますので、ご承知おきをお願いしたいと思っております。

3 青梅市図書館の年末開館の試行について（社会教育課）

【教育長（橋本）】 それでは次に、教育長報告事項の3、青梅市図書館の年末開館の試行について、を説明いたします。

【社会教育課長（遠藤）】 それでは、報告資料3をお目通しいただきたいと思っております。青梅市図書館の年末開館の試行についてであります。

昨年末、試行的に一度やらせていただいておりますが、12月29日、中央図書館だけになりますが、午前9時から午後5時までということがございます。図書館の指定管理者と調整しまして、出勤の方を内部で調整してやっていただけるということになりましたので、今年度も実施していきたいと思っております。

以上でございます。

【教育長（橋本）】 説明は終わりました。ただいまの説明に対しご質疑等ございましたらお願いいたします。

ちなみに、去年の入館者数はわかりますか。

【社会教育課長（遠藤）】 昨年、入館者数が724名、貸出冊数が視聴覚、CDとかを含めて全体で1,181点。12月に開館した日数が27日ですが、そのうちの12番目ぐらいにあたるということがございます。貸出冊数も12月全体の17番目ぐらいということ。通常だと8時までなのですが、5時までということを考えますと、土日並みの忙しさであったということで、指定管理者から報告を受けてございますので、好評であったと考えております。

【教育長（橋本）】 やはりそれなりの利用があるということがございます。いまだ試行ではございますが、今年もやらせていただくということがございます。

よろしいですか。

4 諸報告

(1) 委員会等会議録

- ア 青梅市社会教育委員会会議録（社会教育課）
- イ 青梅市図書館運営協議会会議録（社会教育課）

(2) 事業等の実施予定について

- ア 生涯学習事業実施予定について（社会教育課・文化課）

(3) 事業等の実施結果について

- ア 令和4年度前期後援名義承認結果について（教育総務課）
- イ スタディ・アシスト取組状況について（教育指導担当）
- ウ 生涯学習事業実施結果について（社会教育課・文化課）

【教育長（橋本）】 それでは、教育長報告事項の4、諸報告ですが、あらかじめ各委員の皆様には事前にお目通しいただいております。この際、何かご質疑等ございましたらお願いいたします。特によろしいでしょうか。

再 日程第3 教育長報告事項

1 青梅市教育委員会事務委任規則第3条にもとづく専決処分の報告について（教育総務課）

【教育長（橋本）】 それではここで、教育長報告事項の1、青梅市教育委員会事務委任規則第3条にもとづく専決処分の報告について、を議題といたします。

本件は、青梅市教育委員会事務局職員の人事異動の決定に関し、青梅市教育委員会事務委任規則第3条の規定にもとづき、教育長の臨時代理をもって専決処分した事案の報告であります。

本件は、人事案件でありますことから、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項および同条第8項の規定にもとづき、非公開としたいと思っておりますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

【教育長（橋本）】 ご異議ないものと認めます。よって、出席委員の3分の2以上の多数で議決いたしましたので、非公開とすることに決定いたしました。

ここで、関係する職員以外の退席を求めます。

〔 退 席 〕

〔公開〕

【教育長（橋本）】 ここから、会議を公開といたします。

【教育長（橋本）】 以上で、予定された案件につきましてはすべて終了いたしました。その他何かございますか。

【社会教育課長（遠藤）】 机上配付いたしましたスポーツDAYのチラシですが、例年ですとスポーツの日にスポーツ推進課でいろいろなスポーツイベントをやってございます。開いていただいて

左側の下の部分ですが、オリンピックが昨年行われてレガシー企画ということで、オリンピックは、スポーツ、文化の面がございます。文化の面ということで、社会教育課で文化レガシー企画ということでこういったことをやりますので、配付させていただきました。よろしくお願いします。

【教育長（橋本）】 何かご質疑等ございますか。

【委員（稲葉）】 冒頭でお話した市町村教育委員協議会で、来年度からこども家庭庁が設置されて、行政としては厚生労働省の保育園とか、それから小学校とどんな連携をとられているかということを含めて話をしたときに、ある市では認定こども園を教育委員会の中に入れて小学校1年生とつないでという形でとてもいい形でつながりができている。それを第一歩として保育園、認定保育園ではない幼稚園も教育委員会に入れて、連携をとりながら、いい結果が出ているという報告がありました。青梅市でも、細分化されているところを統一化してゼロ歳から18歳までを子どもということで取り上げて。課の名前はどうかと聞きますと、「こども家庭」というのではなくて「こども部」とか、そういった形でこどもに限定して、こども青少年課、青少年部とかいうふうにされている感じです。「こども家庭」というと、私は子どもより家庭の方が重視されているみたいに感じるのですが、やっぱり子どもは子どもとして、一人の人間としてきちっと集結して取り上げて、みんなでサポートしていくという体制をとればいいのかなど。このごろは家庭のない子もいますので、その辺のところは子どもに特化した部が必要なのかなど。他市町村のお話を聞いて、すごく思いました。

以上、報告までです。

【教育長（橋本）】 ありがとうございます。実は青梅市でも、数年前に、教育委員会の中にいわゆる幼稚園とか保育園を所管している部署と一緒にできないかという議論を庁内でいたしました。全国でも何例かあるのですよ。その中で、法的なことも実はあるのですけれども、最終的には青梅市では実現できませんでしたが、今の稲葉委員のようなご指摘というのは、企画部門も含めて少し頭には入っているつもりではございますので、また折を見て市長部局とも協議してまいります。

【委員（稲葉）】 よろしくをお願いします。

【教育長（橋本）】 ほかにありませんか。

【教育部長（布田）】 本日、文化課長が所用により欠席しておりますので、私から報告させていただきます。

机上にチラシを配らせていただいております。吉川英治記念館で秋季展示として行われます『三国志』の世界』でございます。この展示につきましては、吉川英治記念館で所蔵しております『三国志』に関する資料を展示いたしまして、吉川英治の『三国志』の世界を紹介するものでございます。また、NHKの人形劇「三国志」の人形展示やアニメ、ゲームなど様々なジャンルへの広がりについても紹介しているものでございます。

会期につきましては10月1日から12月18日までとなっております。

詳しい内容につきましては、チラシをご覧いただきたいと思います。

以上で説明を終わります。

【教育長（橋本）】 本件、特によろしいでしょうか。

ほかにはございませんか。

それでは、今後の日程について教育総務課長から説明をお願いします。

【教育総務課長（芥川）】 それでは、今後の日程でございます。

10月5日、会議終了後ですが、中学校長と教育委員との懇談会。午後4時から、テーマは「中学校部活動の地域移行について」、会場は午前中と同じ議会棟3階の大会議室でございます。

続きまして、10月7日、市町村教育委員会連合会第1回研修会。時間、講師、テーマ等は記載のとおりでございます。

続きまして、10月19日、学校訪問。午前9時10分から、河辺小学校、霞台中学校にまいります。

続きまして、10月21日、同じく学校訪問。午前9時10分から、吹上小学校、東小・中学校にまいります。

続きまして、10月26日、学校訪問。午前9時10分から、新町小学校になります。

その後、施設訪問として午後2時から旧吉野家住宅にまいります。

裏面をご覧くださいまして、10月28日、同じく学校訪問。午前9時10分から、第四小学校、吹上中学校でございます。

続きまして、11月2日、教育委員就退任式。午前9時から、市役所本庁舎2階の204～206会議室になります。

続きまして、11月4日、学校訪問。午前9時10分から、霞台小学校、泉中学校になります。

最後に、11月10日、第8回教育委員会定例会。午前10時から、会場はこちら教育委員会会議室でございます。

今後の日程は以上です。

【教育長（橋本）】 ここで、大野委員より発言がございます。

【委員（大野）】 11月1日をもちまして、2期8年間の教育委員の任期が終わりますので、一言ごあいさつを申し上げたいと思います。

まずもって、私自身、何とか大きな事故も起こさず任期をまっとうできたことについて感謝申し上げます。

市長から任命を受けたこの責任の重大さを、教育委員としてどうやって果たしていこうかなと考えました。学校については、校長先生が学校を運営しているわけですので、校長先生が自信を持って取り組めるように、そういうことを応援したいという姿勢で、学校訪問をしたり、校長先生とお話をしてまいりました。それから、教育委員会事務局につきましては、従来のこれまでの事業の継承ではなくて、常に新しいアイデアを入れて、しかも課長さんたちが創意工夫を楽しめるような、そういうようなことができるように応援したいなと思ってまいりました。果たしてそれがこの8年間でどれくらい実現したのかよくわかりませんが、皆様のご指導、ご支援をいただきまして、

これまで何とかやってくられたことについて改めて感謝申し上げます。

これから先ですけれども、橋本教育長のもとで、先ほども申しましたように楽しく。仕事は何と
いったって楽しくなくてはだめですから、楽しく青梅市民のためにいろいろな施策を考えて事業を
進めていただけたらありがたいなと思います。

また、教育長におかれましては、大変お力のある人だなというふうに私見ているのですけれども、
ぜひ思う存分お力を奮って、青梅市をさらによくしていただけたらありがたいなと思います。

いろいろお世話になりました、ありがとうございました。

【教育長（橋本）】 ありがとうございました。また11月2日にいろいろとお話を聞かせていただ
ければと思いますが、まだ学校訪問等ございます。よろしく願いいたします。

ありがとうございました。

日程第4 教育長閉議および閉会宣言

【教育長（橋本）】 以上で本日の日程はすべて終了いたしました。これをもちまして閉会といたし
ます。大変お疲れさまでございました。

午後2時35分閉会

青梅市教育委員会会議規則第26条の規定により、ここに署名する。

青梅市教育委員会教育長

青梅市教育委員会委員